

見本

ハイブリッドゼミ① ワークシート



旧2年()組()ゼミ(前・後)

班長:

班員:

活動1 ハイブリッドさせる研究を最低2つ、所属するゼミの10本の研究テーマの中から選ぼう。

ハイブリッドさせる研究①

研究者(生徒氏名) 杉木 太郎 研究タイトル チョコレートの溶ける条件の研究

ハイブリッドさせる研究②

研究者(生徒氏名) 杉木 次郎 研究タイトル 面の違いによる摩擦の変化に関する研究

ハイブリッドさせる研究③(※3つ目は必須ではない)

研究者(生徒氏名) 研究タイトル

活動2 研究をハイブリッドさせると、どんなアイデア(価値)が生まれるか考えよう。(最低3個!)

- チョコレートを溶けにくく(傷つきにくく)する包み紙
- ロどけのよいチョコレートの断面
- チョコレートを製造する過程で、溶かしたチョコレートを機械の中に通して成形する。その時に機械内部にチョコレートの残滓(残りかす)が少なくなるような、液体の摩擦を軽減する機械の表面加工。
- チョコレートをおもちゃのように遊べる知育菓子を創る場合の表面
- ロ内に残りにくいチョコレートの開発

POINT

- なるべく多くのアイデアを出そう!
- ふせん以外にも、ゼミ内で出たアイデアを組み合わせてOK!

活動3 生まれたアイデア（価値）には、どんな学術的・社会的意義があるか考えよう。

※社会課題の解決へのつながりを意識する

•より美味しく、保存がきくチョコレートの開発につながる

•フードロス削減につながる

•摩擦のメカニズムの解明につながる

•子どもの成長に役立つお菓子の開発につながる

•虫歯になりにくいチョコレートの開発につながる

POINT

・必要に応じてギガタブを使っていいので、多様な視点から考えてみよう。

活動4 さらに必要な（加えるとよい）研究について考えよう。（最低5つ!）

•美味しいと感じるチョコレートに関する調査の研究（硬さ、成分、温度、表面の形状…）

•粘度の高い流体と金属表面の摩擦に関する研究

•紙の材質と摩擦係数の研究

•口内に残るチョコレートの量に関する研究

•口腔内の糖分と虫歯菌の増殖の関係

•各発達段階における知育菓子の教育的効果に関する研究

POINT

・活動2のアイデアによっても変わるので、柔軟に発想しよう！

今後の予定

5 / 16（木）PowerPointで発表資料作成

7 / 18（木）1年生に発表

確認

ふせんはこのワークシートの裏に貼って提出すること！